

浅間山

○概況（平成 14 年 11 月）

火山活動は、やや活発な状態が続いています。

地震活動は、やや活発な状態が続いています。また、火口底の温度は高い状態が継続し、噴煙もやや多い状態が続いていますので、山頂付近では少量の火山灰の噴出や火山ガスに注意が必要です。

○地震活動の状況

2000 年 9 月から地震活動のやや活発な状態が続いています。1 日あたりの地震回数は 10～40 回程度で推移しています（全て無感地震、表 1、図 1、図 2）。火山性微動は観測されませんでした。

表 1 火山性地震日別回数表（浅間山）

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	旬計	
高周波地震	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	4	
低周波地震	25	24	13	24	25	33	25	20	6	23	218	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	旬計	
高周波地震	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	4	
低周波地震	40	13	19	23	21	15	22	17	22	15	207	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	旬計	月計
高周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
低周波地震	12	20	21	27	25	19	19	19	15	20	197	622

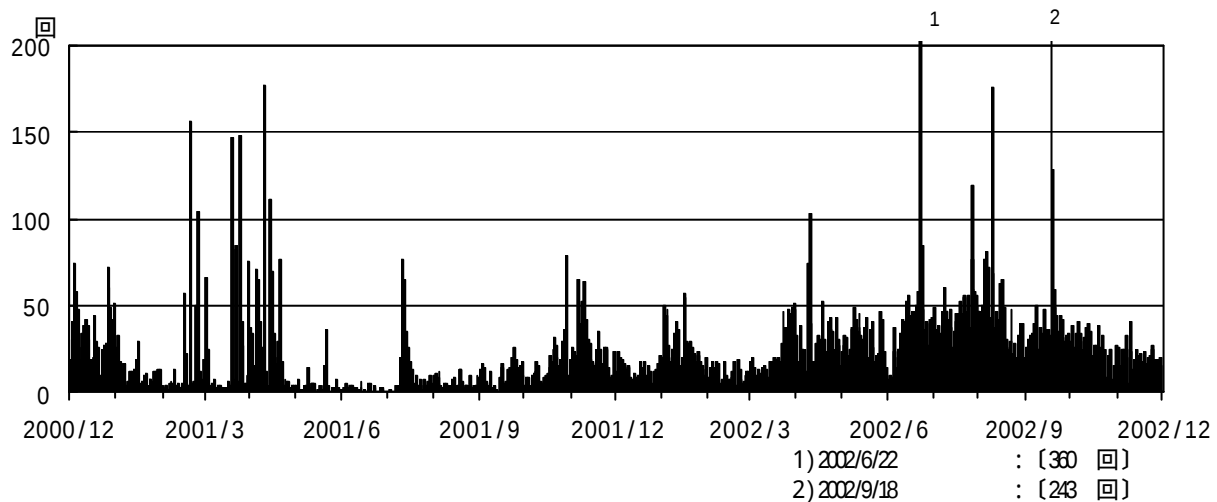


図 1 浅間山 火山性地震日別回数 (2000年12月1日～2002年11月30日)

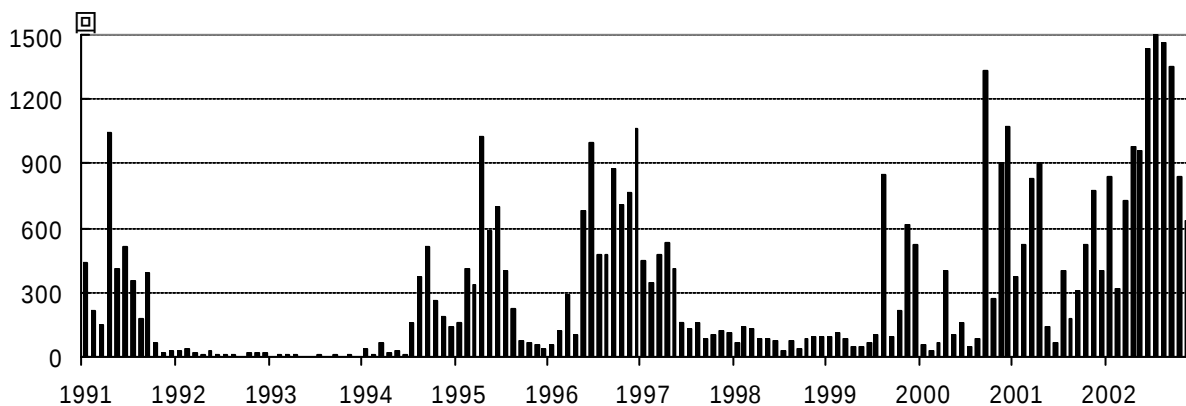


図 2 浅間山 火山性地震月別地震回数 (1991年1月～2002年11月)

○ 噴煙活動の状況

遠望カメラによる観測では、噴煙はやや多い状態となっています。群馬県林務部の火口カメラによると、引き続き火口底噴気孔周辺において高温域が確認されています。（図 3～5）

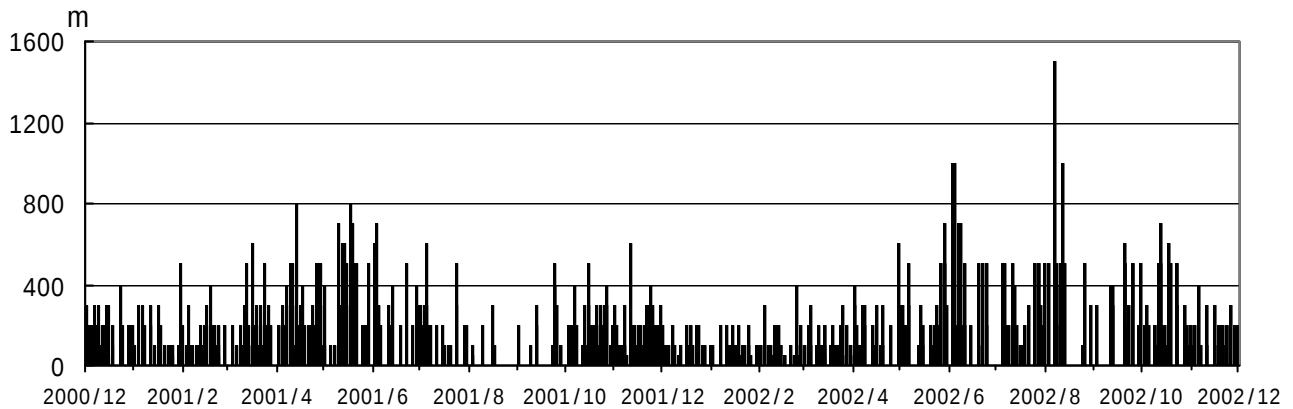


図 3 浅間山 日別噴煙高度（2000年12月1日～2002年11月30日）

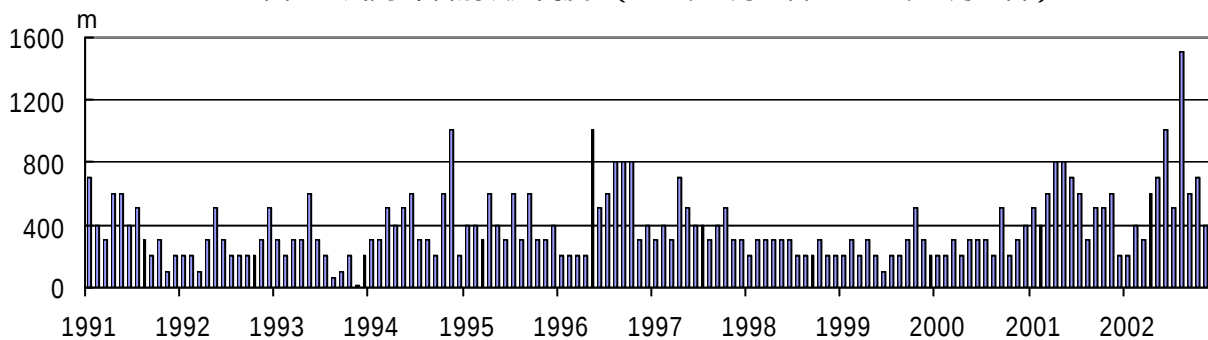


図 4 浅間山 月別噴煙高度（1991年1月～2002年11月）

* 09・15 時の定時観測のうちで最大を示しています

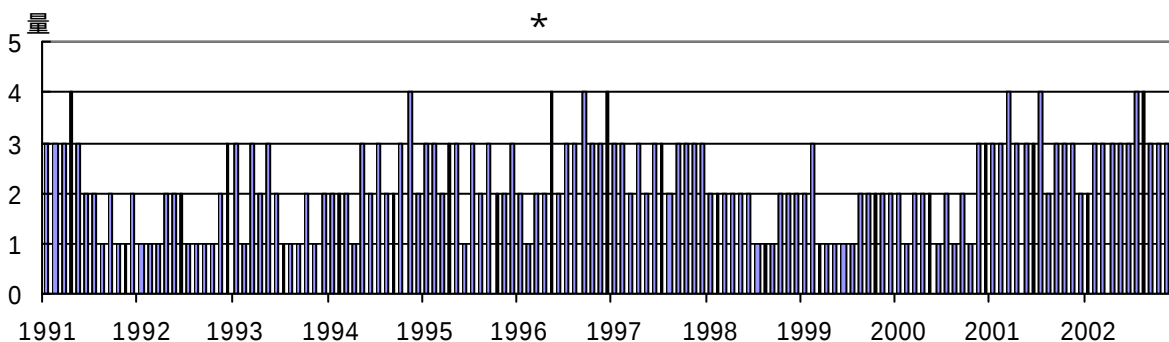


図 5 浅間山 月別噴煙量（1991年1月～2002年11月）

* 09・15 時の定時観測のうちで最大を示しています

○ 火口温度の状況

群馬県林務部の火口カメラによると、引き続き火口底噴気孔周辺において高温域が確認されており、火口底温度の高い状態は続いています。

○ 火山ガスの状況

19 日に実施した二酸化硫黄の放出量の観測結果は、約 620～1170 トン/日と、引き続き多い状態でした（図 6）

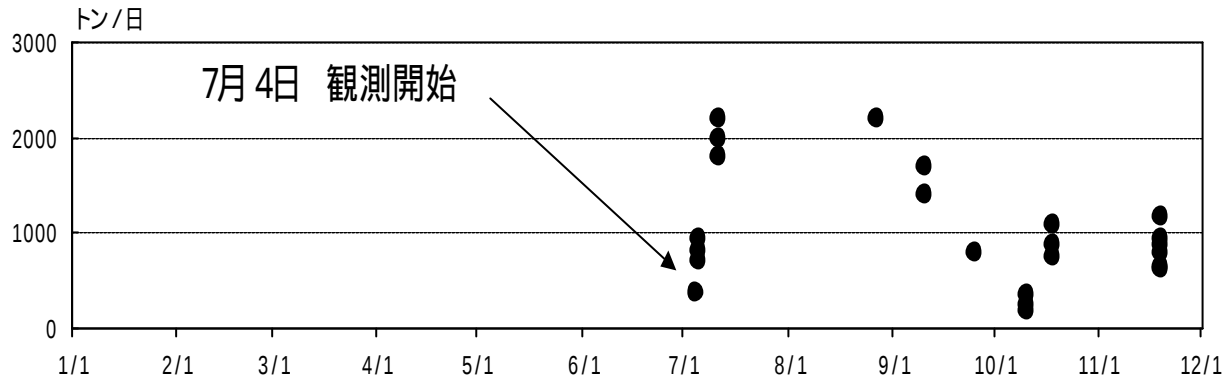


図 6 浅間山 二酸化硫黄放出量 (2002 年 7 月～11 月)

○地殻変動の状況

GPS 観測では、火山活動によるとみられる変化はありませんでした。傾斜観測でも大きな変化は観測されていません（図 7～9）。

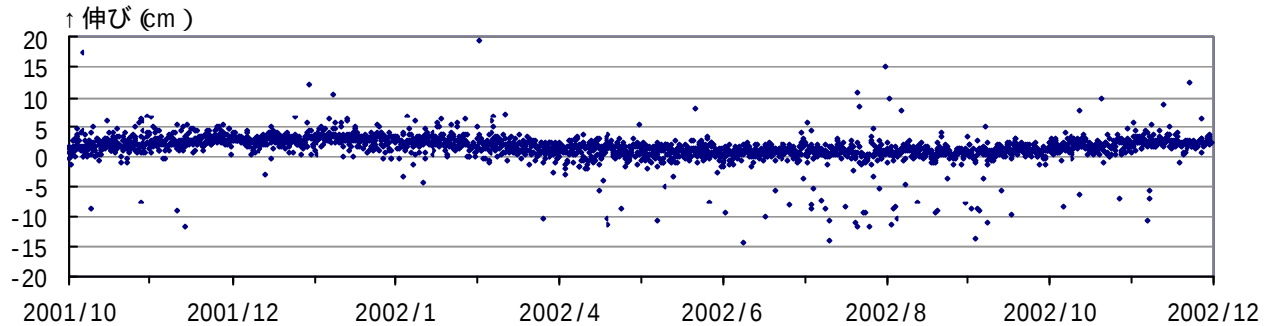


図 7 浅間山 GPS観測結果 (2001年10月 1 日～2002年11月30日)
追分 - 高峰高原 基線長

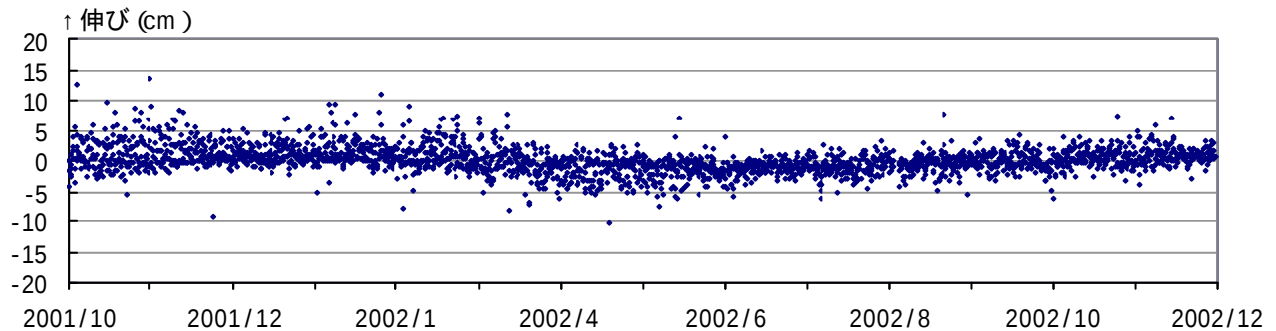


図 8 浅間山 GPS観測結果 (2001年10月 1 日～2002年11月30日)
追分 - 鬼押出し 基線長

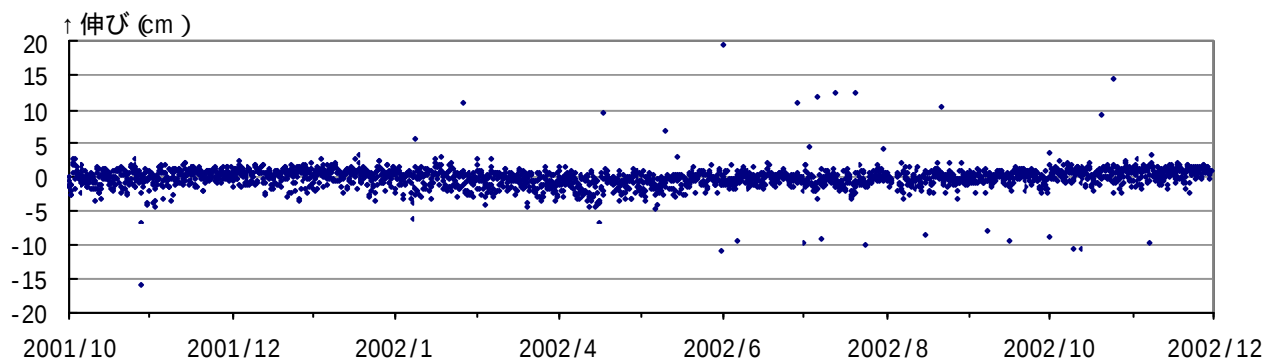


図 9 浅間山 GPS観測結果 (2001年10月 1 日～2002年11月30日)
高峰高原 - 鬼押出し 基線長

